



4



3



2



7



6



5



8

- 1 子ども目線で質問を投げかける子ども議員
- 2 町議会さながらの子ども議会の内容に聞き入る傍聴席
- 3 堂々とした口調で日ごろの疑問を尋ねる子ども議員
- 4 子ども議員の質問に一つ一つわかりやすく答弁します
- 5 答弁を聞きもらすまいと必死に書き取り耳を傾ける子どもたち
- 6 参加者を代表して議長・副議長を務め、議事を進行する福田君(左)と山口さん(右)
- 7 他の議員の質問やその答弁も真剣なまなざしで聞いていました
- 8 白熱した議会の様子

1年生の社会科学で、身近な地域として益城町の学習をしました。授業では、



19 齋藤駿議員
益城中2年

問益城町の市街地化と経済活性化の計画について

両施設とも、より多くの町民の皆さんの意見や要望、予算などを十分考慮し、検討をしていきたいと思えます。

答今のところ建設予定はありませんが、検討していきたいと思えます。

町総合運動公園には、アスレチックとまではいきませんが、複合遊具、ブランコなどができる遊具を備えており、遊具の設置費用で約1,500万円、そのほか用地整備費などにたくさんのお金がかかっているため、今のところ大きな公園を造る計画はありません。

また、本町には博物館はありませんが、交流情報センターや益城中央小学校に出土品などを展示しています。町の歴史や文化を多くの人たちに知っていただき、それを大切に守り伝えていくことは、私たち町民の役割だと思えます。

新旧の地形図を比較し、益城町の土地利用が年を追うごとに変化していることを読み取り、また、益城町のパンフレットなどの統計表から、益城町の人口が増加していることも読み取ることができ、益城町が魅力的な町であることを感じました。

熊本市が政令指定都市となり、それに隣接する町として、今後もさらに市街地化を進めていく計画があるのかどうか知りたいと思いい、質問させていただきました。

答グランメッセ周辺の区画整理事業など、農地を守りながら秩序ある開発を進めます。

積極的に市街化を進めようという「市街化区域」と、逆に毎日食べるお米や野菜を育てることを目的とし、市街化を抑制する「市街化調整区域」のバランスが大切です。

現在、グランメッセ西側、南側、東側周辺約65軒(益城中敷地の約17個分)について区画整理事業という仕事を始めています。現在畑になっている所をきれいな街並みにして、家やお店、工場を造っていくというものです。これに伴い人口の増加を約2,500人と予想しています。

よって町の人口が10月末で33,387人です。約36,000人と予想されます。今後はインターチェンジ、空港周辺の開発が出てくると思えますが、農地を守りながら秩序ある開発を行うことが町の取るべき姿であると思えます。

(※各名前の上の数字は議席番号)